

781 中央大学記事（中央大学講演会）

〔『法学新報』第33卷11（383）号 大正12年12月10日〕

○中央大学記事

○中央大学講演会 十一月十一日中央大学創立記念日に当り例年なれば学生の主催する種々の余興あるへきも本年は震災後の事として此際一切の催を廃して学術講演会を開催すること、なれり

当日午後一時来聴者堂に満つ劈頭理事馬場鎭一博士の開会の辞あり東京商業会議所の会頭藤山雷太氏は所感と題して帝都復興に関する所見を述べられ次で中央大学教授川原次吉郎氏は「ウエルスの世界国家論」に関する論評を試みらるる本学教授三浦義道氏は「地震約款の効力」に就て氏独特の研究を発表せられ最後に文学博士三上參次氏は「変災に際して江戸時代の人」と題

し熱弁を奮はる孰れも時局問題にして聴衆に与へたる感激の甚  
大なるものありき因に当日立作太郎博士の欠席せられたるは遺  
憾とす